

第一三七回通信句会 選句結果

令和二年春。選句数は五句、うち特選一句。

(○内の数字は、特選数で、選句の内数です)

3点②花冷えや瓶の底まで入り込む	のりとし	7点①調律の執す一音あたたかし	才美
母の桜しだれて満開春光る	幸	日脚伸ぶ三十センチの線を引く	秀夫
春の日を部屋で浴びるかステイホーム	和幸	職場まで続ける小径母子草	直子
3点①表裏見せ鴉飛び交ふ春の海	安紀子	たはむれに五粒植へし豌豆咲く	のり子
1点 朝風に清楚な庭の沈丁花	眞三	2点①春寒やウイルス来たる一波二波	明美
10点③剃る髪は生きをるあかし暮の春	守	2点 病衣着て富士見る窓辺四月尽	眞壽
2点 おしのぎと筆麗しの春の膳	眞壽	1点 さへづりや籠れる人へ応援歌	友子
2点 飽かず眺む予後のベンチの八重桜	直子	1点 満開の桜を見しや唯一人	眞三
2点 駅前は芽吹きとビルのハーモニ	潤子	1点 コロナ禍や無惨に切らる藤の花	幸枝
2点①白藤や老女舞ふごと太極拳	ヤエ子	永き日や城を背にしてジャズライブ	才美
3点 半世紀経ても夢見る大試験	幸子	1点①春乱れ薔薇は変らず咲誇る	のりとし
6点①菜の花の波オカリナの音のせて	友子	駆け廻る花びら追いかけて園児たち	幸
4点①春暁や清少納言もこの空を	幸枝	1点①爽やかに散歩たのしや春ウララ	和幸
2点 足跡は一人分なり雪の果て	のり子	4点 それぞれに定めのあるて陽炎へる	安紀子
4点①防護服尽きし病院花の冷え	明美	2点 知人かや帽子かぶりて春マスク	潤子
からくりの稚児に片恋春の宵	才美	3点①布ぞうり感触よしや郁子の花	ヤエ子
2点①横綱に土つきにけり木の芽晴	秀夫	3点 菜の花に裏表なし海青し	守
2点 春あらし過ぎし朝や晶光る	幸枝	1点 春雪をながめ閑日やりすこす	幸子
4点 ゆつくりと杖に縋りて花吹雪	直子		
金蘭や林の中の宝物	ヤエ子		
はるかなる友の感染心配す	幸		
2点①陽性率上がる暗さや花は葉に	明美		
5点④命あるものは動きし初蛙	守		
2点 籠り居の生前整理春惜しむ	友子		
籠もり居て気ままな暮らし春眠し	安紀子		
1点 パトカーの通り行きしや春の雪	眞三		
4点 春の星コンビニまでは徒歩でゆく	秀夫		
3点 流れくる香りの記憶春の闇	潤子		
3点 囁りを繋ぎ繋ぎし風立ちぬ	のりとし		
4点 春眠やつけばなしの「深夜便」	のり子		
覚悟せし風呂場で涙拭う春	眞壽		
5点①夫とゐて言葉少なや草の餅	幸子		
さわがしく鳥がさえずる春の朝	和幸		